

## 最も大切なこと〔要約〕

Iコリント15:3~8

- 3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。  
キリストは、聖書の示すとおり、私たちの罪のために死なれたこと、
- 4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおり、三日目によみがえられたこと、
- 5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。
- 6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。  
その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。
- 7 その後、キリストはヤコブに現れ、それから使徒たち全部に現れました。
- 8 そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現れてくださいました。

### (A) キリストが復活された証拠

私は、礼拝で聖書の話をしているうちに、キリストが好きになりました。しかしキリストが復活された話だけは信じる事が出来ませんでした。それは、全世界で一度死んでから復活された人は一人もいないからです。教会でそんな馬鹿なことを言っているから、みんな教会に来ないのではないかと思っていました。神学校へ行きますと、証拠論という学びがありました。

(1) 信頼される文献 (2) 目撃者が多い (3) 因果関係  
関ヶ原の戦いも、現在の人は誰も見ていません。然し、信頼される文献によって信じています。キリストの復活も、世界で一番信頼されている聖書に書かれています。

(1) 弟子たちが復活のイエス様にお会いした。  
ルカ 24:36 これらのことを話している間に、イエスご自身が彼らの真中に立たれた。  
キリストは、復活される以前から、弟子たちに何回もキリストが死人の中から復活することを教えてきました。しかし、実際にキリストが死人の中から復活されて、弟子に会われたとき、弟子たちはキリストをキリストの幽霊だと思ったのです。

ルカ 24:37 彼らは驚き恐れて、霊を見ているのだと思った。  
ルカ 24:38 すると、イエスは言われた。「なぜ取り乱しているのですか。  
どうして心に疑いを起こすのですか。  
ルカ 24:39 わたしの手やわたしの足を見なさい。まさしくわたしです。  
キリストは、弟子たちが自分のことを幽霊だと思っているので、「幽霊なら手や足はないだろう。私の手や足に触って見なさい。」と言って手や足を見せられました。

わたしに触って、よく見なさい。霊ならこんな肉や骨はありません。わたしは持っています。  
手や足を見るだけでなく触って見なさいと言われました。

ルカ 24:40 イエスはこう言われて、その手と足を彼らにお示しになった。  
ルカ 24:41 それでも、彼らは、うれしさのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物がありますか。」と言われた。  
それでも弟子たちは、復活されたキリストのことを信じる事が出来なかったため、イエス様は「ここに何か食べる物がありますか。」と言われました。

ルカ 24:42 それで、焼いた魚を一切れ差し上げると、  
ルカ 24:43 イエスは、彼らの前で、それを取って召し上がった。  
弟子たちがイエス様に焼き魚を差し上げると、弟子たちの見ている目の前で召し上がられた。焼き魚を食べる幽霊はいないので弟子たちは、やっとイエス様が死人の中から復活されたことを信じたのです。

(2) 復活されたイエス様の声を聴いたパウロ  
パウロは、律法を守ることによって神様から正しいと認められると信じて、一生懸命に律法を守っていました。しかしステパノは、キリストが十字架で私達の罪の身代わりとして死んでくださり、三日目に復活されたことを信じれば神様が正しいと認めてくれると宣伝伝えて、律法を守っているパリサイ人から石で打たれて死んだのです。

使徒 7:55 しかし、聖霊に満たされていたステパノは、天を見つめ、神の栄光と、神の右に立っておられるイエスとを見て、

使徒 7:56 こう言った。「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。」

使徒 7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、いっせいにステパノに殺到した。

使徒 7:58 そして彼を町の外に追い出して、石で打ち殺した。証人たちは、自分たちの着物をサウロという青年の足もとに置いた。

使徒 7:59 こうして彼らがステパノに石を投げつけていると、ステパノは主を呼んで、こう言った。「主イエスよ。私の霊をお受けください。」

使徒 7:60 そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。「主よ。この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、眠りについた。

ステパノと同じようにキリストが私たちの罪の身代わりとして十字架で死なれ、三日目に死人の中から復活されたことを信じる者の数がどんどん増えてきたのです。

パウロは、キリストが十字架で死なれたことは知っていたが、キリストが三日目に死人の中から復活されたことを信じている者の数がどんどん増えてきたことを、驚異に感じたのです。

使徒 9:1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、  
使徒 9:2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。  
パウロは、「十字架で殺されたキリストが三日目に死人の中から復活した、そんな馬鹿なことを信じている者は皆殺しにすべきだ。」と本気で考えたのです。「そんなことを信じている馬鹿なやつがいるもんだ。」と、馬鹿にしていたのではないのです。そんな馬鹿なことを信じているものは、皆殺しにしようと思っていた男です。

使徒 9:3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。

使徒 9:4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。

使徒 9:5 彼が、「主よ。あなたほどなたですか。」と言うと、お答えがあった。

「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。」

使徒 9:6 立ち上がって、町にはいりなさい。そうすれば、あなたのしなければならないことが告げられるはずです。」

死んだ人が復活する、そんなことは絶対にありえないと信じていたのです。  
絶対にありえないと信じていたキリストから声をかけられたのです。  
キリストは生きておられるのです。パウロの驚きは想像することが出来ません。  
たとえば自分の家族が亡くなられて悲しんでいましたがその方が復活された、それは大きな慰めですが、パウロはキリストの復活を信じる人々を殺していたのです。そのキリストにお会いしたのです。パウロの驚きを説明することはできません。

使徒 1:9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。

キリストはずでに召天されたのです。キリストは天におられるのです。

そのキリストがどうしてパウロ声をかけられたのですか。

ヨハネ 1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

キリストは父の懐におられ、時に肉体を取って地上に来られたのです。

キリストは偏在されているのです。

マタイ 28:20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

キリストは召天されましたが、世の終わりまで、いつも、私達と共にいてくださるのです。

これは私たちの頭で理解できることではありません。信じればよいのです。

主は生きておられる  
「主は今 生きておられる わがうちに おられる  
すべては 主のみ手にあり 明日も 生きよう 主がおられる」

#### (B) キリストの復活の重要性

Ⅰコリント 15:17 そして、もしキリストがよみがえらなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお、自分の罪の中にいるのです。

よく、大切な人のためなら身代わりに死ねるといふ人がいます。

ローマ 3:23 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、すべての人は罪人なので、罪人が罪人の身代わりになることはできません。罪を一度も犯したことの無い神の御子だけが身代わりとなることが出来ます。

神様が死人の中から三日目に復活させたキリストだけが、身代わりとなることが出来るのです。ですからキリストの復活を信じていない人は罪から救われることが出来ないのです。

#### (C) キリストの復活を信じていない人は一番哀れな人です。

私はキリストが大好きでしたが、キリストの復活を信じる事が出来ませんでした。  
私はここを読んで私は一番哀れなものだということを知りました。

ヨハネ 11:25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

私のように、キリストの復活を信じれなくて、哀れなものになるのではなく、キリストの復活を信じて、一番幸せなものになりましょう。